

Cisco 1000、1600、2500、2600、および 3600 シリーズ ルータの補助ポート、コンソール ポートおよびアダプタのピン割り当て

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[補助およびコンソールポート](#)

[ロールオーバーケーブルを識別して下さい](#)

[PC へのコンソールポート接続](#)

[コンソール ポートの DB-9 アダプタとの信号と配線](#)

[コンソール ポートの DB-25 アダプタとの信号と配線](#)

[モデムへの補助ポート接続](#)

[DB-25 アダプタを使用する補助ポート シグナリングおよびケーブル接続](#)

[代替ターミナルおよびモデム接続](#)

[関連情報](#)

概要

この文書では、Cisco 1000、1600、2500、2600、および 3600 シリーズ ルータでの、さまざまなポートおよびアダプタのピン配置について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco 1000、1600、2500、2600、および 3600 シリーズ ルータ

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

補助およびコンソールポート

コンソールおよび補助ポート on Cisco IOS® ルータは非同期シリアルポートです。コンソールポートおよび補助ポートはデータ端末装置 (DTE) で設定されます。Cisco 1000 に関しては、1600、2500、2600、および 3600 シリーズ ルータ、コンソールおよび補助ポート両方の使用 RJ 45 コネクタ。アダプタは PC 端末機、モデム、または他の外部コミュニケーション 機器への接続に利用できます。

この表は RJ 45 コネクタ用のコンソールポートピン配列を示したものです:

コンソールポート (DTE)		
ピン 1	信号	入出力
1	-	-
2	DTR	出力
3	TxD	出力
4	GND	-
5	GND	-
6	RxD	入力
7	DSR	入力
8	-	-

¹記載されていないピンは接続されません。

この表は RJ 45 コネクタの補助ポートピン配列を示したものです:

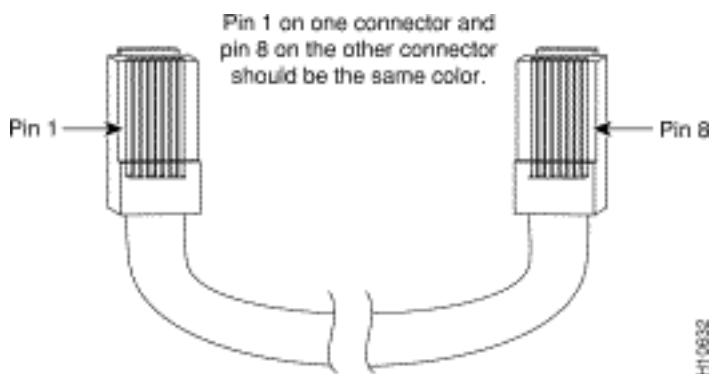
補助ポート (DTE)		
ピン 2	電波状態表示	入出力
1	RTS	出力
2	DTR	出力
3	TXD	出力
4	GND	-
5	GND	-
6	RXD	入力
7	DSR	入力
8	CTS	入力

²ここで参照されていないピンは接続されません。

[ロールオーバーケーブルを識別して下さい](#)

ロールオーバーケーブルを識別するために、ケーブルの 2 つのモジュラ終わりを比較して下さい。背部でタブと、隣り合わせのハンドのケーブルを保持して下さい。左コネクタの外部のピンに

接続されるネットワーク（ピンは右のコネクタ（8）ピンの外部のピンと1）同じカラーである必要があります。on Cisco ケーブルは、ピン 11 つのコネクタで白く、ピン 8 は他のコネクタで白いです。



この表は RJ 45 によって転送される（コンソール）ケーブルピン配列を示したものです：

信号	ピン留め	ピン留め	信号
-	1	8	-
-	2	7	-
-	3	6	-
-	4	5	-
-	5	4	-
-	6	3	-
-	7	2	-
-	8	1	-

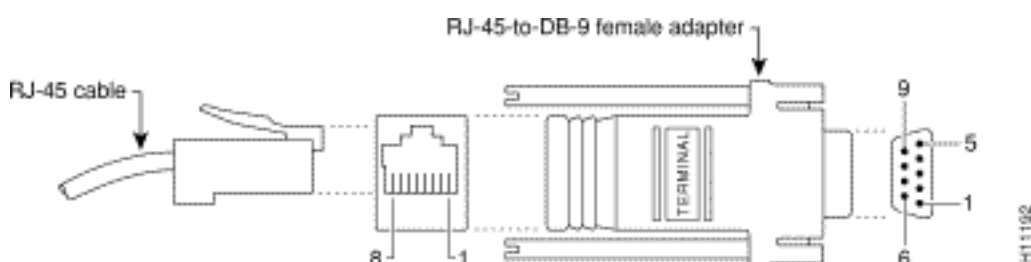
PC へのコンソールポート接続

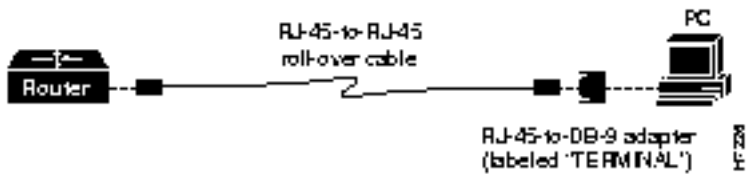
PC 端末をコンソールポートに接続するには、RJ-45-to-RJ-45 ロールオーバー ケーブルと、RJ-45-to-DB-25 メス型 DTE アダプタまたは RJ-45-to-DB-9 メス型 DTE アダプタ（「TERMINAL」というラベルが付いているもの）を使用します。

コンソールポートのデフォルトパラメータは次のとおりです。

- 9600 ボー
- 8 データ ビット
- 生成されるか、またはチェックされる No parity
- 1 ストップ ビット
- フロー制御なし

コンソールポートの DB-9 アダプタとの信号と配線



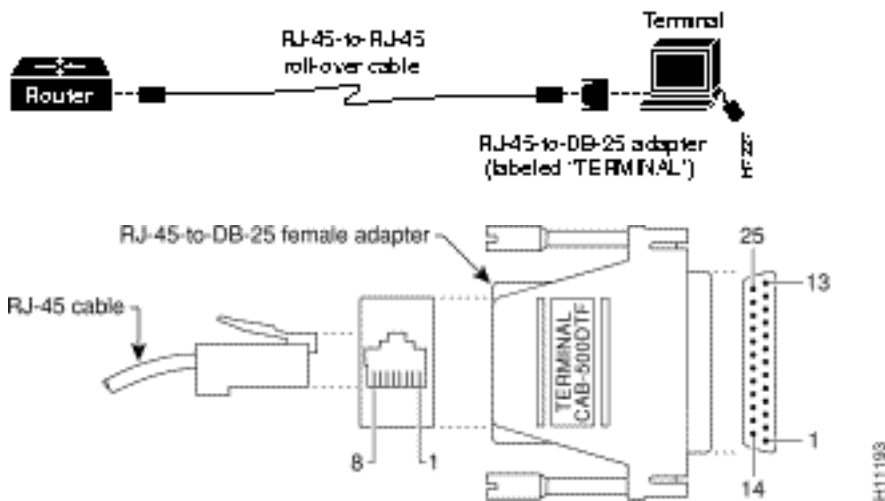


次の表は DB-9 接続のためのピン配列説明を示したものです:

コンソールポート (DTE)	RJ-45-to-RJ-45 ロールオーバーケーブル		RJ-45-to-DB-9 ターミナルアダプタ	コンソールデバイス
電波状態表示	RJ-45 ピン	RJ-45 ピン	DB-9 ピン	電波状態表示
RTS	1 ³	8	8	CTS
DTR	2	7	6	DSR
TxD	3	6	2	RxD
GND	4	5	5	GND
GND	5	4	5	GND
RxD	6	3	3	TxD
DSR	7	2	4	DTR
CTS	8	1	7	RTS

³Pin 1 はピン 8.に内部で接続されます。

コンソールポートの DB-25 アダプタとの信号と配線



次の表は DB-25 接続のためのピン配列説明を示したものです:

コンソールポート (DTE) ⁴	RJ-45-to-RJ-45 ロールオーバーケーブル		RJ-45-to-DB-25 ターミナルアダプタ	コンソールデバイス
電波状態表示	RJ-45	RJ-45	DB-25 ピン	電波状態表示

	ピン	ピン		
RTS	1 ⁵	8	5	CTS
DTR	2	7	6	DSR
TxD	3	6	3	RxD
GND	4	5	7	GND
GND	5	4	7	GND
RxD	6	3	2	TxD
DSR	7	2	20	DTR
CTS	8	1	4	RTS

4 同じ配線をコンソールと補助ポートの接続に使用できます。

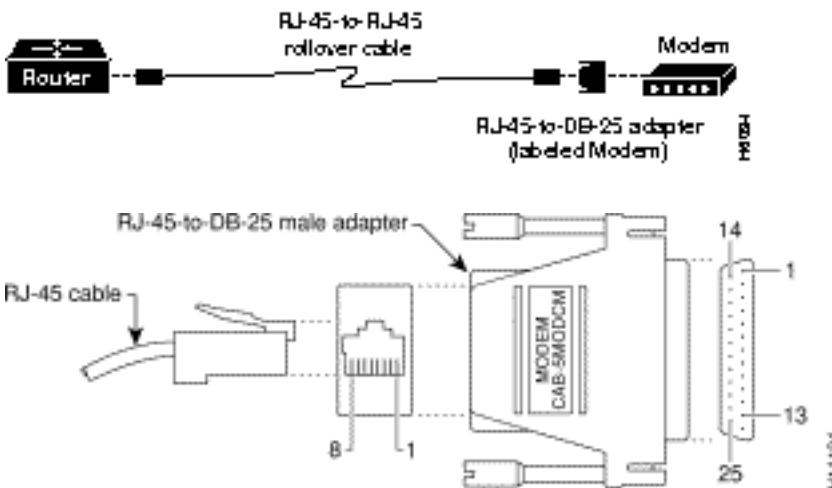
⁵Pin 1 はピン 8.に内部で接続されます。

モデムへの補助ポート接続

PC端末機をルータに接続するために、RJ-45-to-RJ-45 ロールオーバーケーブルを RJ-45-to-DB-25 メス型DCEアダプタか RJ-45-to-DB-9 メス型 DTE アダプタ使用すれば (「ターミナル」と分類される)。このセクションは DB-9 および DB-25 両方のためのピン配列説明を接続リストします。

モデムを補助ポートに接続するために、RJ-45-to-RJ-45 ロールオーバーケーブルおよび RJ-45-to-DB-25 オス型DCEアダプタを使用して下さい (「[MODEM](#)」 と分類される)。

DB-25 アダプタを使用する補助ポート シグナリングおよびケーブル接続



モデム接続のためのピン配列説明はここにあります:

補助ポート (DTE)	RJ-45-to-RJ-45 ロールオーバーケーブル		RJ-45-to-DB-25 モデム アダプタ	モデム
信号	RJ-45 ピン	RJ-45 ピン	DB-25 ピン	信号

RTS	1 ⁶	8	4	RT S
DTR	2	7	20	DT R
TxD	3	6	3	Tx D
GND	4	5	7	G N D
GND	5	4	7	G N D
RxD	6	3	2	Rx D
DSR	7	2	8	D C D
CTS	8	1	5	CT S

6ピン1は内部でピン8に接続されています。

代替ターミナルおよびモデム接続

Cisco ポート接続	RJ-45 ケーブルのタイプ	アダプタ
PC へのコンソールポート	ストレート	DCE、DB-9 メス型
ターミナルへのコンソールポート	ストレート	DCE、DB-25 メス型
モデムへの補助ポート	ロールオーバー 7	DCE ⁸ 、DB- 25、オス型
-	ストレート	DTE ⁸ 、DB- 25、オス型

7 オクタル ケーブルまたは RJ-45 ブレークアウト ケーブルは、ロールオーバー ケーブルと同等です。

8 ピン 6 を引き抜き、これをピン 8 の位置に置いて、DB-25 アダプタを変更します。

関連情報

- [コンソールおよび補助ポートに関するケーブル接続ガイド](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)